

株式会社 金光組

2021年度環境経営レポート

(対象期間:2021年10月1日～2022年9月30日)



株式会社金光組



®環境省

エコアクション21
認証番号0012191

作成日： 2022/10/25

I. ごあいさつ

株式会社金光組は、昭和32年の創業以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、ガス工事、土木工事各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、経営における課題とチャンス定期的に明確にし、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取り組みを行い、継続的な改善を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します(電気、ガソリン、軽油)
3. 事務所及び建設現場での廃棄物の削減を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 環境に配慮した施工監理を推進します。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2017年9月1日
改定日：2019年10月25日
代表取締役

金光 正義

Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 金光組

代表取締役 金光 正義

(2) 所在地

本 社 〒712-8055 岡山県倉敷市南畝2丁目1番8号

残土置場 〒712-8055 岡山県倉敷市南畝2丁目24番3号

資材置場 〒712-8055 岡山県倉敷市南畝2丁目25番7号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 金光 正義

担当者 環境事務局 金光 正義

TEL:086-456-2239

事務部 山岡めぐみ

FAX:086-456-3178

工事部 鳥居 節夫

E-mail:info@kanemitsu-gumi.co.jp

(4) 事業内容

一般土木・建設工事業

〔 土木工事業、とび・土木工事業、舗装工事業、石工事業、管工事業、
構造物工事業、しゅんせつ工事業 〕

(5) 事業の規模

年間工事完成高： 309 百万円 (2021年度)

	本社	資材置場	残土置場	合計
従業員 (人)	15	無人	無人	15
延べ床面積 (㎡)	420㎡	-	-	420㎡
敷地面積 (㎡)	840㎡	1,600㎡	1,529㎡	3,969㎡

(6) 事業年度 10月～ 翌年9月

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

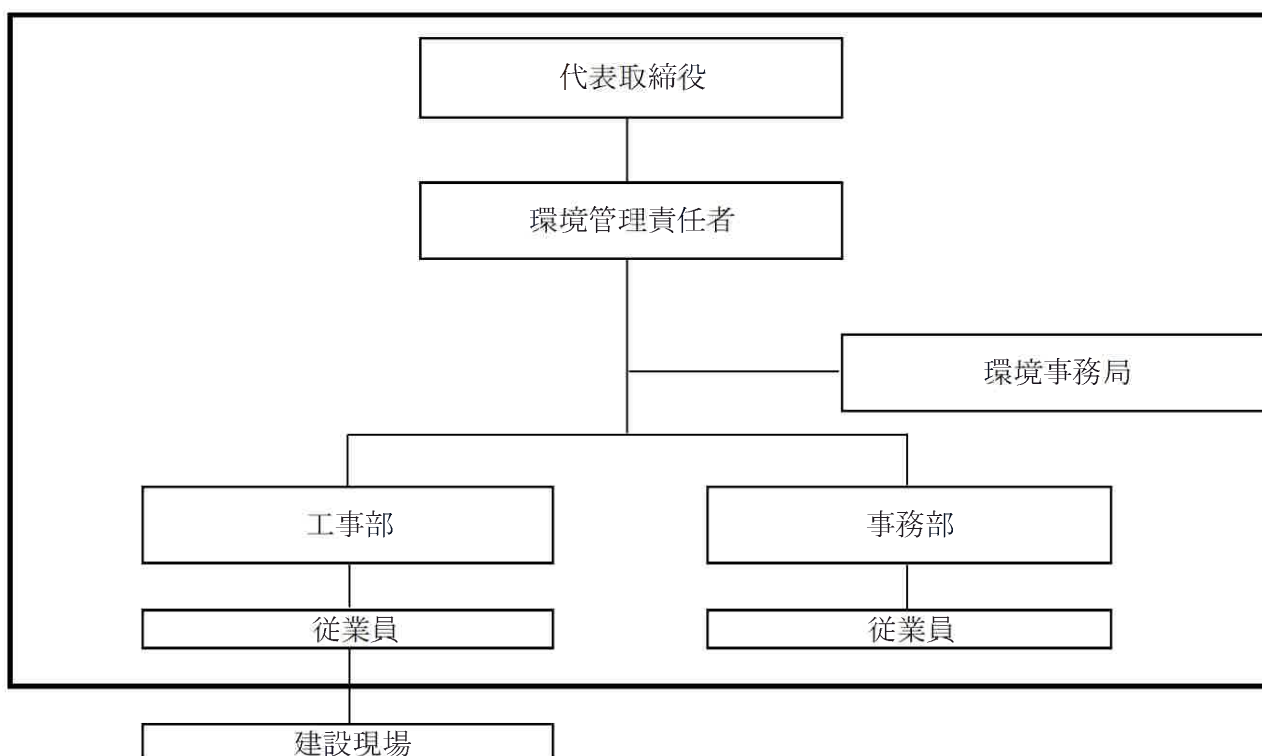
登録組織名： 株式会社 金光組

サ イ ト： 本社、資材置場、残土置場

対 象 外： なし

活 動： 一般土木・建設工事業

IV. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの定期的な明確化の実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

V. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	75,398	93,653	79,247	75,728	92,811
電力使用量	kWh	10,705	10,873	13,143	15,300	14,056
都市ガス使用量	m ³	701	636			
ガソリン使用量	L	6,366	6,539	4,576	4,202	7,863
軽油使用量	L	20,149	26,967	20,561	21,728	25,276
廃棄物排出量						
一般廃棄物量排出量	kg	380	410	595	591	595
産業廃棄物排出量	トン	1,393	1,408	1,556	1,575	1,121
総排水量	m ³	139	165	175	309	300

※電力の二酸化炭素排出量係数は 中国電力公表の2019年度 0.585kg-CO₂/kWh

VI. 環境経営目標及びその実績

(1) 中期目標

項 目		年 度	基準値 (2016年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量 削減	kg-CO ₂		79,102	76,333	75,938	75,542	75,147
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
電力使用量削減 (事務所)	kWh		11,323	10,927	10,870	10,813	10,757
	kg-CO ₂		7,892	7,616	7,576	7,537	7,498
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
自動車燃料削減 (事務所)	ガソリン(L)		1,081	1,043	1,038	1,033	1,027
	軽油 (L)		0	0	0	0	0
	kg-CO ₂		2,510	2,422	2,410	2,397	2,385
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
自動車燃料削減 (現場)	ガソリン (L)		8,545	8,247	8,203	8,160	8,118
	軽油 (L)		18,334	17,692	17,601	17,509	17,417
	kg-CO ₂		67,954	65,576	65,236	64,896	64,556
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
一般廃棄物の削減	kg	実績把握(2018) 660		637	634	630	627
	基準年度比			96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
産業廃棄物の削減	t		659	636	633	629	626
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
節水	m ³		189	182	181	180	179
	基準年度比		100%	96.5%	96.0%	95.5%	95.0%
環境に配慮した施工 監理 (許可等の電子 申請)	件数比率	実績把握(2018)		49%	51%	53%	55%
	基準年度比		45%	+2%	+2%	+2%	+2%
課題のチャンスと推 進	点	実績把握(2021)		100	100	100	100
	基準年度比						

(2) 対象期間の実績

項 目	年 度	基準値 (2016年 度)	対象期間 2021年度		達成度 (%)	評価
			目標	実績		
二酸化炭素排出量 削減	kg-CO2	79,102	76,333	92,811	82.2%	×
	基準年度比	100%	96.5%	117%		
電力使用量削減 (事務所)	kWh	11,323	10,927	14,056	77.7%	×
	kg-CO2	7,892	7,616	8,223		
	基準年度比	100%	96.5%	104%		
自動車燃料削減 (事務所)	ガソリン(L)	1,081	1,043	745	40.2%	×
	軽油 (L)	0	0	1,637		
	kg-CO2	2,510	2,422	6,026		
	基準年度比	100%	96.5%	240%		
自動車燃料削減 (現場)	ガソリン(L)	8,545	8,247	7,118	83%	×
	軽油 (L)	18,334	17,692	23,639		
	kg-CO2	67,954	65,576	78,562		
	基準年度比	100%	96.5%	116%		
一般廃棄物の削減	kg	660 (2018年度)	637	595	107%	○
	基準年度比		96.5%	89%		
産業廃棄物の削減	t	659	636	1,121	57%	△
	基準年度比	100%	96.5%	170%		
節水	m ³	189	182	300	61%	×
	基準年度比	100%	96.5%	159%		
環境に配慮した施工 監理 (許可等の電子 申請)	件数比率	実績不明	49%	97%	197%	○
	件(電子/全体)		230/469	457/469		
	基準年度比		+2%	+52%		
課題のチャンスと推 進	点	実績不明	100	73.3~76.7	73.3~76.7 点	×
	基準年度比					

注1) 達成度の計算式 削減するもの：目標÷実績×100 (%)
 拡大するもの：実績÷目標×100 (%)

注2) 化学物質は実施していない

Ⅶ. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と次年度の取組内容）
二酸化炭素排出量の削減		
数値目標	×	排出量が大幅に増えた。現場への移動距離の効率化を図る。
下記の項目とおり		
電力による二酸化炭素排出量の削減（事務所）		
数値目標	×	新たなOA機器の追加、新型コト対策、残業時間の増加等の理由で電力の使用量が増加した。 引き続き、不要時の電源OFFや、空調の適切な温度管理を心掛けるなど、対策をしていきたい。
・昼休みの消灯	○	
・不要照明の消灯	○	
・不要時のパソコン電源OFF	○	
・OA機器の省エネモード設定	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減（事務所）		
数値目標	×	営業先へ出向くことが増えたため全体的には使用量が増加した。 引き続き走行距離の効率化に取り組んでいく。
・エコドライブの実践	○	
・効率的なルートで移動	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減（現場）		
数値目標	×	遠方の現場が多く移動距離が増えたため、使用量が増加したが、各自エコドライブや効率的なルートでの移動を心掛け、削減に努めたい。
・エコドライブの実践	○	
・効率的なルートで移動	○	
・積載オーバーをしない	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	ペーパーレス推進の結果、紙ゴミの削減に繋がった。 引き続きペーパーレス化の推進、また従来通り分別や裏紙使用を徹底し、削減に努める。
・分別の徹底	○	
・裏紙使用	○	
産業廃棄物の削減		
数値目標	△	工事内容により排出量が増加した。 工事内容によって増減するため削減は難しいが、的確に分別し、100%再生可能な廃棄物になるよう努める。
・発生量の抑制	△	
節水		
数値目標	△	仕事内容に伴い使用量が増加した。 少しでも無駄な使用が減らせるように一人一人が節水を心掛ける。
・節水表示	○	
環境に配慮した施工監理		
目標：実績収集	○	おおむね達成できた。 引き続き電子申請を行っていく。
・道路使用許可の電子申請化	○	
課題のチャンスと推進		
・多様なガス工事に対応できる体制の構築	○	内管工事の比率が上がり、構築途中。 構築はおおむね完了した。現在運用途中。
・工事管理システムの構築と運用による現場及理の効率化	○	

VIII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき事項	遵守評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理	遵守
建設リサイクル法	発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊車両の使用	遵守
騒音規制法	特定建設作業の事前届け出、規制基準の遵守	遵守 該当なし
振動規制法	特定建設作業の事前届け出、規制基準の遵守	遵守 該当なし
フロン排出抑制法	フロン類の登録充填回収業者による、適切な引渡し、定期点検	遵守
NOx・PM法	排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
資源の有効な利用に関する法律	廃棄パソコンのリサイクル、適正処理	遵守
家電リサイクル法	家電製品の適正な処分	遵守 該当なし
消防法	消火器の設置、維持	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

岡山方面への仕事が増加している。今後もその傾向は変わらないと思われる。昨年度と同じく移動距離が増している為、軽油の使用量は増加している。

今後の燃料費の高騰も考え、来年度には本社の移転を計画している。これにより改善すると思われる。それにより工事後の残業も削減され、夕方以降の電気使用量の削減にも繋がるものと思われる。ペーパーレス化だけではなく、情報の共有化の為、Web工事管理システム(RAKUNY)を構築できた。これにより、自社内の情報の共有化だけではなく、協力会社との共有化もでき、紙資料等のやり取りはほぼ無くなった。

さまざまな電子化への取り組みも出来ている。道路使用許可の電子申請はほぼ100%達成している。電子印はお客様の対応待ちが一社、電子マニフェストは処分場ごとに対応の可否が異なる為、早くの対応を望む。自社内の対応の体制は出来ている。

環境経営方針の見直し	☐ 要	☒ 不要
環境経営目標・経営計画の見直し	☐ 要	☒ 不要
取組体制の見直し	☐ 要	☒ 不要
その他の見直し	☐ 要	☒ 不要

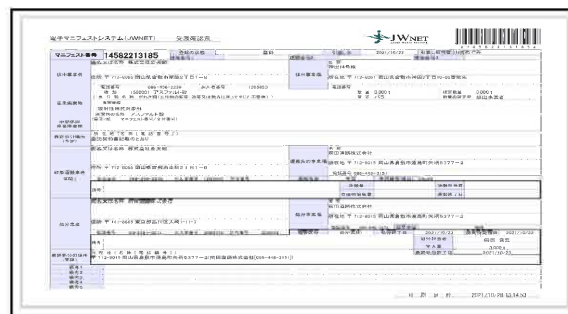
2022年10月25日

代表取締役 金光正義

IX. 環境への取組の紹介



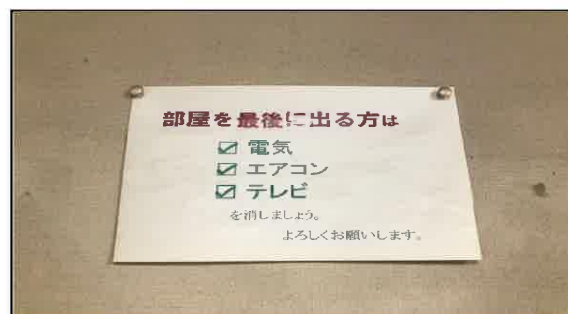
＜課題のチャンスと推進(Web工事管理システム)＞



＜環境配慮の施工(電子マニフェストシステム)＞



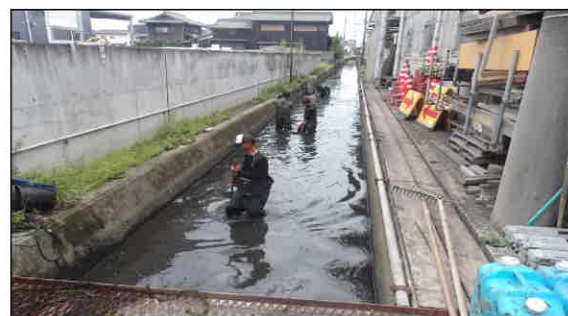
＜裏紙再利用の推進＞



＜省エネの呼びかけ＞



＜清掃活動①＞



＜清掃活動②＞



＜環境教育講習会の様子①＞



＜環境教育講習会の様子②＞